縁（ゆかり）Ⅲ NO.3	R7.4.24（木）	文責　坂本英明
学校教育目標　【自ら考え、判断し行動する子どもの育成】 重点目標 ①挨拶・返事 ②掃除・委員会係 ③服装・名札 ④時間		

本格的に授業が始まりました　～授業の受け方は?～

4月も第4週に入り、各学年とも本格的に授業が始まりました。授業を見ていると、児童の話の聴き方に差があります。「先生の話は目と背中で聴く」ことが基本。すべての児童ができるようになってほしいです。

また、「自分の考えや意見を必ず持つ」ことも大切です。間違っていてもよいのです。間違っていたら、何がよくなかったのか?その原因を見つけ、正せばいいのです。「そのうち、誰かが答えを言ってくれるだろう」「先生が教えてくれるだろう」という消極的な授業の受け方では学力はつきません。タブレットがある時代もない時代もそれは変わりません。答えを導きだそうとする「チャレンジ精神」が大事なのです。

学校は公共の場　～みんなが気持ちよく過ごせるために?～

家を一歩出れば、そこは社会、公共の場です。友達や地域の方をはじめすべての方が気持ちよく過ごせるようにしたいものです。学校も同じで、「大声を出す（奇声をあげる）」「廊下を走る」「友達に嫌がらせをする」など他人に不快な思いを与えてしまう行為は慎んでほしいものです。低学年、中学年、高学年の差はあれ、大人がしっかり教えていかなければなりません。学校でも指導しますが、ご家庭や地域でもご指導よろしくお願いします。

「履物や服装を整え、心を整える」ことを学校では指導しています。写真は左が6年、右が1年の靴箱です。どちらも見事にきれいに並んでいます。心が整ってくることを期待しています。

めざす教職員像
・人権感覚にすぐれた教職員
・教育的愛情と情熱をもった教職員
・互いに協働して学び続ける教職員

学校経営構想では、めざす教職員像を上記のように設定しています。教職員は人前に立つ者です。「人権を尊重する精神」は欠かせません。まずは、私自身が人権感覚を常に磨いていく必要があると考えています。そして、「子どもの人権」をはじめ、様々な方の人権について研修や学習を行い、自分自身の人権感覚を磨いていく教職員にしていきたいと思います。

また、児童に対して、愛情を持って、時には厳しく、時には優しく指導ができる教職員、新しいことにも互いに力を合わせてチャレンジしながら学び続ける教職員をめざしていきます。

↓↓↓飽田東小学校ホームページはこちらから↓↓↓

http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/school/e/akitahigashies/index.htm